



日印研修生交換事業
インド人インターンシップ生
受け入れのご提案

特定非営利活動法人アイセック・ジャパン

本資料の内容

- 1 団体の概要
- 2 日印研修生交換事業について
- 3 インターンシップ受け入れの概要
- 4 お問い合わせ

1 | 团体概要



“Peace and Fulfillment of Humankind’s Potential.”

AIESEC（アイセック）は1948年に設立された、世界最大の学生団体です。

世界100以上の国と地域に支部を持ち、約30,000人のメンバーが活動しています。

第二次世界大戦を背景に設立された私たちは「平和で人々の可能性が最大限発揮された社会」の実現を目指しています。

私たちは、その実現には若者のリーダーシップを育むことが必要だと考えています。

そこで、海外インターンシップ事業を中心に、若者に異文化に触れる挑戦的な機会を提供しています。

団体概要



AIESEC（アイセック）は社会の課題を解決できる次世代のリーダーを輩出することを目的とした、世界最大の学生団体です。

世界100以上の国と地域に支部があり、アイセック・ジャパンはその日本支部として設立されました。

現在ではNPO法人格（特定非営利活動法人）を取得して活動をしております。

現在は24の委員会がございます。

Vision

“Peace and Fulfillment of Humankind’s Potential.”

平和で人々の可能性が最大限発揮された社会の実現を目指して活動しています。

Mission

世界の明日を形作る若者に、海外での実践的なリーダーシップ経験を届けることで、よりよい未来を創造する次世代のリーダーを輩出することを目指します。

History

1948年に、第二次世界大戦を背景に7人の若者により創設され、1962年に日本支部が生まれました。

委員会一覧

北海道委員会	名古屋大学委員会	大阪大学委員会	早稲田大学委員会
立命館アジア太平洋大学委員会	滋賀大学委員会	大阪公立大学委員会	京都大学委員会
筑波大学委員会	広島委員会	神戸大学委員会	慶應義塾大学委員会
関西学院大学委員会	中央大学委員会	青山学院大学委員会	慶應湘南藤沢大学委員会
南山大学委員会	立教大学委員会	明治大学委員会	東京大学委員会
名古屋市立大学委員会	上智大学委員会	一橋大学委員会	同志社大学委員会

団体概要



■ アイセック・ジャパン 理事・諮問

会長	各務茂夫（東京大学 大学院工学系研究科 教授 産学協創推進本部 副本部長）
副会長	西野史子（一橋大学 大学院社会学研究科 教授）
理事	伊藤友章（北海学園大学 経営学部 教授）
理事	江夏幾多郎（神戸大学 経済経営研究所 准教授）
理事	梶山泰生（梶山女学園大学 現代マネジメント学部 教授 / 学校法人 梶山女学園 理事長 / 京都大学 名誉教授）
理事	横田一彦（早稲田大学 商学部 教授）
理事	米田邦彦（広島修道大学 商学部 教授）
監事	太田康広（慶應義塾大学大学院経営管理研究科エーザイチェアシップ基金教授）
諮問	田中伸男（タナカグローバル（株） CEO）
諮問	根本勝則（一般社団法人日本経済団体連合会 専務理事）
諮問	鈴木美伸（有限会社ステージ・フォー・ワン 代表取締役）
諮問	諮問 堅田航平（五常・アンド・カンパニー株式会社 CFO）
諮問	渋谷直毅
諮問	福山和貴（アンダーソン・毛利・友常法律事務所 アソシエイツ）

■ 団体情報

団体名	特定非営利活動法人アイセック・ジャパン
所轄庁	東京都
設立年	1962年設立（2001年特定非営利活動法人格取得）
代表	各務茂夫（東京大学産学推進本部イノベーション推進部長）
事務局所在地	〒162-0814東京都新宿区新小川町4-16 プラレールビル301
電話番号	03-6457-5806
Fax番号	03-6457-5809
HP	https://www.aiesec.jp/

私たちの事業



海外インターンシップ受け入れ事業



海外の学生を日本の企業様に受け入れる形式のプログラムです。学生の専攻と受け入れる企業様の事業に合わせて、ITやマーケティングなどの内容で行います。

海外の学生に異文化の地でスキルを向上させる挑戦的な経験を提供するとともに、日本の企業様に海外の優秀な学生との接点を提供しております。

海外インターンシップ送り出し事業



日本の学生を海外のNGOや教育機関に送り出す形式のプログラムです。教育や環境などをテーマに、現地の社会課題にアプローチするボランティアの内容で行います。

日本の学生に対し、異文化の地で社会課題に主体的に取り組むことができる挑戦的な経験を提供します。

Global Youth Dialogue



オンライン上で気軽に異文化交流をすることができるプログラムです。複数定められたテーマの下で海外の学生と対話し、異なる文化や価値観に触れることができます。

※なお、本資料でご説明させていただくのは海外インターンシップ受け入れ事業になります

2 | 日印研修生交換事業について

日印研修生交換事業とは

海外インターンシップ事業を基に、日本人学生とインド人学生の相互の大規模な受け入れと送り出しを行う企画です。現在急激な成長を遂げているインドと集中的に、大規模に行うことで日印間の経済的な結びつきを強化すると同時に、日本とインドにおいて**グローバルに活躍できるリーダーシップを持った若者を育成すること**を目的としています。

【日印研修生交換事業 インド人学生受け入れの概要】

時期

2025年12月1日-2026年1月19日（7週間）

内容

IT・マーケティングなど学生の専攻に根付いた分野・内容でのインターンシップ
日印学生同士の異文化交流機会

規模

インド人学生合計100人の受け入れを想定



日印交換事業を行う意義・メリット

このように、インドは経済やビジネスの側面で大きな可能性を持っており、日本企業からの需要が大きいものの、課題や障壁がまだ大きいのが現状です。そこで、弊団体ではインドからの大規模な海外インターンシップの受け入れを通じて日本企業のインド参入・インド人材採用の課題や障壁を解決し、日本とインドの経済面での結びつきの強化に貢献したいと考えております。

インド学生との接点 マネジメント経験 (人事的側面)

弊団体ではインドの上位層の大学に通う学生を人材プールとして多く保有しているため、その中からスキルや志向性などが企業様のニーズに合う学生をご紹介しますことができます。過去にはそのまま採用に至った事例も多数あり、採用軸として非常に有効な手段となります。また、社内でのグローバル人材のマネジメント体制構築のきっかけにもなります。

インド人学生との 交流・協働経験 (人的交流の面)

優秀なインド人材と関わることで、実際のインド市場への理解が深まると同時に、彼らの持つ知見やアイデアに触れることができ、今後のインドへの事業展開のヒントを得られます。また研修生との交流を通じて、社内全体に多様性を受け止め、グローバルに展開していくことへの関心や意欲のある空気が生まれます。

日印の経済的結びつきの強化 優秀なインド人材の育成 (CSR的側面)

今後確実に拡大していく経済的な面での日印間の連携の強化につながり、受け入れ企業様においても今後のインドでの事業の展開や成長に大きな影響を与られます。また、インドの学生に対し、異文化の地での深い学びの機会を与えることは、CSRの一環としておおきな価値を生み出すものであると考えます。

アイセックインド支部について

【アイセックインド支部の委員会】



インド人学生は、アイセックインド支部を通じてインターンシップに応募します。アイセックインド支部の委員会は主に都市ごとに存在していますが、**インド工科大学デリー校、デリー大学、ペロール工科大学**には大学支部があります。委員会数は34で様々な優秀な大学を網羅しております。インド工科大学はデリーだけではなくハイデラバードやインドール、アーメダバード等にもコネクションがあります。

弊団体ではインド支部との連携の強化も進めており、研修生の募集にあたって、

例：インド工科大学デリー校

【学科】 コンピュータサイエンス、デザイン、電子工学、エネルギー科学・工学、人文社会科学、経営学、工学、数学、機械工学、物理学等

【特徴】

- コンピューター・エンジニアリング等IT領域に強い大学
- 入試合格率は約2~2.5%であり、世界トップクラスで難関
- 高度な教育により、非常に優秀なエンジニアや経営者を多数輩出している
- GAFaをはじめとする多くの世界的IT企業から多くの求人が来る

アイセックインド支部について

【アイセックインド支部の委員会】

アイセックインド支部への応募学生の専攻

2023年、インド支部で募集したインターンシップへの応募学生総数は2210人で、下記の専攻の学生が応募しています。

- ・ IT
- ・ Software Engineering
- ・ AI
- ・ Computer Science
- ・ Mechanical Engineering
- ・ Electrical Engineering
- ・ Web Development
- ・ Software Development
- ・ Business Administration
- ・ Business Development
- ・ Marketing

アイセックインド支部と連携している大学例

大学名	都市	ランキング
インド工科大学マドラス校	チェンナイ	1位
インド工科大学ボンベイ校	ムンバイ	3位
インド工科大学デリー校	ニューデリー	4位
インド工科大学ハイデラバード校	ハイデラバード	12位
ジャミア・ミリア・イスラミア大学	ハイデラバード	13位
デリー大学	デリー	15位
ジャダヴプール大学	コルカタ	17位
ベロール工科大学	ベロール	19位
アンナ大学	チェンナイ	20位
カリンガ産業技術大学	ブバネーシュワル	28位
インド工科大学インドール校	インドール	33位
タパール工科大学	パティアーラー	43位
シンビオシス国際大学	プネー	52位

※ランキングの出典：インド政府教育省が発表した国内大学ランキングの順位 12

学術スタディツアーの開催

日印研修生交換事業では、研修期間中にインド学生と日本の学生がともに学び、交流することができるスタディツアーを行います。受け入れ企業様の社員様に置かれましては、任意で見学・参加していただきたいと考えております。

【実施目的】

1. 企業でのインターンシップだけではなく、実際に日本のビジネス・産業の現場で行われている社会的な活動を学んだり、IT・エネルギーを専門とする教授の講演を聞き、学生間でディスカッション・ワークショップを行うことで、インターンシップで培った学びを深める。
2. ツアーを通して、企業、日本とインドという両国間、若者そして自分自身には何が求められ、社会に対してどのようなインパクトを起こせるのかを探求することで、参加学生のビジネスにおける社会的活動に対する意欲を強め、日印間、ひいては国際社会において活躍できる学生を育成するきっかけとする。
3. 企業活動のほか生活、観光、慣習的な意味での異文化理解につながるコンテンツを通じた、日印の参加学生間の交流増進とそれに伴った日印間の今後の協働可能性の探索を行う。

テーマ
(仮)

**IT・エネルギー業界における社会的活動の展望
および日印の若者が生み出すソリューションの可能性**

【企画内容案】

学術的 企画	企業訪問	社会的活動を活発に行っている企業を訪問し、見学や社員様との議論を行う
	大学教授による講義	テーマに基づいた内容で講義を行い、参加者に新たな学びを与える
	ワークショップ	テーマに基づき、日本とインドの学生間で議論を行う
異文化理解	日本文化の体験・観光	日本文化を体感できる場所で観光を行う

3 | インターンシップ生受け入れの概要

アイセックの海外インターンシップ

アイセックの海外インターンシップでインド人学生を受け入れることで、以下の効果が期待できます。



人的交流による

社内への異文化理解の浸透

実際に社内に海外の学生を受け入れることで、お互いの国へのステレオタイプで留まらず、深く互いの文化や価値観を理解することができます。社内で海外学生の母国への理解が進めば、インドに進出時などのコミュニケーションに役立ちます。



優秀な海外学生との
コネクション

インターンを通して、優秀な学生から様々な知見や斬新なアイデアを得ることができます。海外学生への企業の認知拡大や人材の育成にもつながります。インターン後母国に帰国した後も、この繋がりを活かすことができます。



人的交流

学生支援のIR・広報

現在、海外市場への知見や海外進出は広まっていますが人的交流が少ない国もあることが課題となっています。アイセックのインターンシップを受け入れることが、CSRの活動の一環としてのPRにもつながります。

アイセックのサポート

アイセックはインターンシップ開始前・インターンシップ中のサポートを徹底して行いますので、より低いコストでスムーズかつ充実したインターンシップの実施が可能となります。



独自のプラットフォームを通じて 海外学生との接点を提供

アイセック独自のプラットフォームにて、受け入れ企業様のご要望に合う、優秀な海外学生の海外学生の募集が可能です。海外学生とのマッチングを応募～選考、インターン生の決定までサポートいたします。



アイセックメンバーによる 受け入れ前のサポート

ビザ申請や宿泊施設の手配、研修プログラムの設計、そして空港への送迎などインターンシップ前後も含め、インターン生受け入れ準備のサポートを行っております。



研修中の コミュニケーション

アイセックのメンバーが、それぞれのインターンシップに対してマネージャーとしてサポートを担当いたします。インターン生に対してメンタリングを行い、悩みを解消しながら、スムーズな研修の進行とインターン生の成長を支援します。また、インターン制に対する国内の危機管理体制も整備しております。

アイセックの海外インターンシップの内容

以下の5種類の研修モデルから一つをお選びいただき、それをベースに企業様に合わせて内容をカスタマイズいたします。
そのため、0から内容を設計する手間を省くことができます。

IT × Frontend

仮想Webサイトの要件定義・デザイン体験/仮想Webサイトの実装体験

IT × Backend

開発済プロダクトの一部の体験開発/過去に起きた解決済みエラーの修正体験

Marketing × Market Research

インターンシップ用に設定したテーマに基づく市場調査・分析体験

Marketing × Social Media Marketing

仮想のソーシャルメディア投稿案の考案体験

Marketing × Human Resource

過去の事業戦略と紐づいた人事戦略の分析体験/採用プロモーション体験等

アイセックの海外インターンシップの内容

アイセック・ジャパンでは、労働力の提供を目的とせず、グローバル人材の輩出を目的として学生・企業様双方の学びに資するインターンシップの運営を行っています。

そのためインターンシップの内容としては、以下の要件を満たす「**非実務研修**」となっています。

- ・ 研修内容が直接的に利益に還元されないこと
- ・ インターンシップ生が顧客と直接交流しないこと
- ・ 研修期間の半分以上が同じ研修内容にならないこと
- ・ 研修内容が反復作業ではないこと
- ・ 学ぶ、実践する、助言をもらう、学びを定着させるという4つの要素があること
- ・ 十分な受け入れ体制及び指導体制が確保されること
- ・ インターンシップの内容とインターンシップ生の専攻に関連があること

費用

必須	海外研修生受け入れ事業負担金 65,000円 (インターン生一名あたり)
	住居費 (敷金・礼金・水道光熱費含む)
	帰国渡航費
	研修の一環でかかる交通費
任意	入国渡航費
	来日中のその他の交通費 (宿泊先からオフィスまでの交通費等)
	本企画開催における弊団体への寄付金 (学術スタディツアーにかかる費用等)



**合計30～40万円程度
(1人当たり)**

4 | お問い合わせについて

アイセックの海外インターンシップの流れ

お問い合わせ

まずはinfo@aiesec.jpまで、日印研修生交換事業にご興味をお持ちの旨をお問い合わせください。確認の上、担当者よりご連絡いたします。

ヒアリング・ご提案

改めてアイセックのインターンシップについてご説明させていただき、ご希望のインターンシップの内容や学生像をお伺いいたします。

ご提案・契約 (2024年10月-2025年6月)

インターンシップの具体的な内容を提案させていただき、契約を結びます。インド人学生を募集する段階に移行いたします。

インターン生募集・選考 (2025年1月-8月)

契約を結び次第、弊団体のプラットフォームにてインド人学生を募集します。オンラインの面談を通して、インターン生を決定していただきます。インターンシップを実施する契約を結び、その後VISA申請へと移行します。

VISA申請・来日準備 (2025年9月-11月)

VISA申請に必要な書類の作成を弊社がサポートいたします。来日前の準備や研修の準備を行います。

お問い合わせ先

ご興味ございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先にご連絡ください。

電話でのお問い合わせ

03-6457-5806

月・水・金 10:00-12:00, 13:00-17:00

メールでのお問い合わせ

info@aiesec.jp

会社名・氏名・メールアドレス・電話番号を
ご記入の上、お問い合わせください

<https://www.aiesec.jp/contact-us>

当団体のホームページでも資料請求・お問い合わせができます。